

学術総会の概要 (改定)

第5回日本医療安全学会学術総会

— 地域に根差した医療安全文化の醸成 —

会期 2019年2月9日(土)～10日(日)

会場 東京大学

東京都文京区本郷7-3-1、地下鉄丸ノ内線徒歩10分

共同総会長:

松村 由美 (京都大学附属病院医療安全管理部部長、同教授)

岡田 有策 (慶應義塾大学理工学部管理工学科 教授)

衣川 さえ子 (東京医療保健大学東が丘・立川看護学部 教授)

目的:

医療安全・臨床安全・看護安全・医薬品安全・医療機器安全など医療上の膨大な諸課題について多職種かつ学際的観点から討議し、患者安全の向上に資する。

対象者 日本医療安全学会の学会員、その他参加者には参加証が発行されます。

プログラム概要

会長講演、基調講演、祝辞、官庁講演、次期会長挨拶、教育講演、特別講演、シンポジウム、パネルディスカッション、共通セッション、専門分野毎のセッション、一般演題(口演、ポスター発表)、理事会、代議員会、企業展示、懇親会

一般演題(口演・ポスター)申込の締め切りを変更しました: 2018年11月30日

応募可能な一般演題:

医科医療安全、臨床医学安全、歯科医療安全、医薬品安全、医療機器安全、看護安全、臨床リスクアセスメント、臨床リスクマネージメント、臨床リスクコミュニケーション、臨床リスクガバナンス、臨床クライシスアセスメント、臨床クライシスマネージメント、臨床クライシスコミュニケーション、臨床クライシスガバナンス、地域ネットワーク、院内ネットワーク、インシデントレポート、巡視、リスク評価と分析、ビックデータ分析、リスク分析とリスク対策策定のための人工知能、対策立案、ガイドライン、マニュアル、チェックリスト、相互チェック、IoT、院内ラウンド、品質管理、改善運動、院内研修会、Team STEPPS、患者相談、患者中心の医療安全、公開、倫理・モラル、高信頼性組織、遵守、外部監査役、アクシデントレポート、事故評価と事故原因分析、事故調査の第3者委員会、レジリエンス強化、説明責任、事故報告書、事故時の広報、ヒューマンファクターと安全工学、臨床コーチング、法行政学、医療経済学、医療経営学、情報科学、行動科学、認知科学、疫学・統計、その他の医療安全の演題。医療安全以外のテーマはご応募いただけません。

*申し込まれた演題をパネル討論会やシンポジウムへ編入することがあります。

*複数演題の申込を受け付けます。

参加申込の期間: 2018年9月1日～2018年12月28日

総会事前申込の参加費: 日本医療安全学会の学会員(9千円)、学部学生(4千円)、その他(1万2千円)
大学院生は一般扱いです。

電子版抄録集は無料で当日にご利用いただけます。当日にネットがつながっている携帯端末をご持参ください。

印刷版抄録集をご希望の方には当日有料(1部3千円)配布します。

懇親会(2019年2月9日夕)参加費: 5千円

詳細は下記の総会ホームページを参照ください。

<http://jpscs.org/5thJPSCS/>

第5回日本医療安全学会総会事務局
日本医療安全学会本部内

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102 TEL/FAX: 03-3817-6770 Email: 5th@jpscs.org